

がっとおか にちょうび かわのえりんぽかん まな せいと かそく こうりゅう 12月10日(日曜日)川之江隣保館で学んでいる生徒と家族が交 流 しました。 くに きょうどりょうり も ょ たが しょくぶんか ふ クリスマス会では、それぞれの国の郷土料理を持ち寄り、お互いの食文化に触れることができました。

また、フィリピンのバンブーダンスを参加者で楽しみ、最後は2月のふれあいの ひろう れんしゅう きたぐに はる ふるさと うた つどいで披露しようと練習している「北国の春」と「故郷」を歌いました。

子育てをしながら、識字学級に 対は 子育でをしながら、識字学級に がは 子前でをしながら、 されからことだと思います。 なかなか参加できない方もいますが、 このような交流を通してのなかが、 このようなで流を通してのなかませつ ないます。 これからも笑顔のあふれる隣保館に向けて、頑張ろうというのがほから ないました。 (主事 藤田)



1月學行事予定

| 日(にちようび) | 月(げつようび) | 火(かようび) | 水(すいようび) | 木(もくようび) | 金(きんようび) | 土(どようび) |
|--|--|-----------------------|---|--|-------------------|---|
| | 1 元日 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8成人の日 | 9 たいきょくけん ·太極拳 | 10 *********************************** | 11 * *** ** ** ** ** ** ** ** * | 12 ・ふれあい喫茶 | 13 休日開館日 しきじがっきゅう ・識字学級 じょせいりょうりきょうしつ ・女性料理教室 しゅげいきょうしつ ひる ・手芸教室(昼) |
| 14 | 15 • 貯筋体操(ひまわり) | 16 たいきょくけん ·太極拳 | 17 ・貯筋体操(スイートピー) | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 • 貯筋体操(ひまわり) □ はばまらそうだん • 職業相談 | 23 **大極拳 | 24 ******** ***** **** *** *** ** | 25 | 26 | 27 |
| 28 休日開館日 ・識字学級 ・地のいそんちょうどくしょかい ・生命尊重読書会 じへいしょうはったっしょうがい ・自閉症発達障害 しえんがくしゅうかい 支援と可会 ・カラオケ教室 ・キツズブラス | 29 *・貯筋体操(ひまわり) | 30 たいきょくけん ・太極拳 | 31 | | | |

りんぽかん じんけんそうだん しょくぎょうそうだん おこな

〇隣保館では、人権相談や 職 業 相談を 行っています。

悩んでいることはありませんか?

以んぽかん **隣保館は、いつでも人権に関わる悩みを相談できる窓口です**。

「届いた書類がわからない」、「市役所のどこに聞けばいいかわからない。」など何でも相談してください。

まいっきはつ か なお、毎月20日は、ハローワークからの巡回相談を行っています。 はっか きゅうじっ ぜんご れんらく (20日が休日のときは前後しますので連絡してください。)

☆☆☆川之江隣保館「ふれあいのつどい」のご案内☆☆☆

2月18日(日曜日) 13時00分から、川之江隣保館で「ふれあいのつどい」 りんぽかん かっとう なな はっぴょう さくひんてんじ を開催します。今年は、隣保館で活動するサークルの皆さんの発表や作品展示の じんけんけいはつこうえんかい とくしましまんぶくじ じゅうしょく ふくしませいじょう し ただ はっか、人権啓発講演会では、徳島市万福寺の住職、福島誠浄氏による「正しく生きる」と題した講演を計画しました。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

じんけん ひがくしゅうかい さんか 「人権の日学習会」にご参加ください。

まいつき にち じんけん ひ がくしゅうかい 毎月11日の人権の日に学習会をしています。 きがる さんか お気軽にご参加ください。(19時30分 ~ 21 時)

○だれが参加しているの?

をかれたいときに、誰でも自由に参加できます。 もう こ 申し込みはいりません。

○どんなことを話しているの?

どうわもんだい 同和問題をはじめ、あらゆる人権問題について参加者が「知りたいこと」「やってみたいこと」を話し合って学習の内容を決めています。

○どこへ行けばいいの?

ゕゎヮぇゥムぽカンム 川之江隣保館にいらしてください。

~ 伝える思い ~

12月17日 (日曜日) に子ども会「クリスマス会」を 行いました。心配していた天候にも恵まれ、200名を超える皆さんに参加していただくことができ大変嬉しく思いました。クリスマス会には、幼児と小 学 生を合わせて45名が参加し、クリスマス節のや水引細工作のの体験など、賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。

また、ひとり暮らしの65歳以上の方へのプレゼントの「おはぎ」作りには、隣保館の女性料理教室の皆さんにご協力いただきました。恒例の餅つきでは、川之江高等学校野球部員25名がボランティアでやく うす じかんあま 約30日を2時間余りでつきあげました。

^{うんどうだんたい} 運動団体より、協賛いただいた「うどん」は、前日 より出汁の準備などをしていただき、朝届いたうどん を釜茹でし、おいしくいただきました。

和は、前日の準備までは覚えていますが、当日はバタバタしているうちに終わってしまったような感覚があります。しかし、子どもたちへのプレゼントや、おはぎづくりへの隣保館利用者の協力、もちつきに、地域からたくさんの皆さんや、幼稚園、保育園、しょう ちゅうがっこう せんせいがた きょうりょく 小・中学校の先生方に協力していただいたことに、「人の輪」と「心の温かさ」を感じました。



さらに、このクリスマス会には、皆が「子どもたちに向き合い、子どもたちを思う気持ち」があったと感じています。

そして、この行事を通して施行から 1年が過ぎた「部落差別解消 すいしんほう かんが えたとき、その達成には、「皆が同じ方向を向き、一人ひ 性進法」を考えたとき、その達成には、「皆が同じ方向を向き、一人ひ とりにできることを継続していくこと」が、重要だと確信しました。

これからも開催する行事、一つひとつを大切にしながら、一歩ずつ前へ すす 進んでいきたいと思います。